



## 防 火・防災活動で地域の安全に貢献 「茨城県女性防火・防災クラブ連絡協議会長表彰」受賞

7月に行われた茨城県女性防火・防災クラブ連絡協議会設立35周年記念式典で、「まさき美咲会女性防火クラブ」会長の中野トキさんが、連絡協議会長表彰を受賞しました。同クラブでは、現在17人の会員が、地域の防火・防災に関する勉強会などのほか、防災訓練への参加や火災予防運動の広報活動などを実施しています。中野さんは、長年にわたり地域の防火・防災活動に多大なる貢献をしたことが認められ、今回の受賞に至りました。



「I~MOのわくわくちゃんねる」  
はこちらから↓



## お 家で楽しめる遊びがたくさん! 「I~MOのわくわくちゃんねる」をYouTubeで配信

新型コロナウイルス感染症の影響でお家で過ごす時間が増えた子どもたちのために、村立幼稚園等の先生たちがYouTubeで配信している「I~MOのわくわくちゃんねる」。家庭で楽しめる「運動遊び」や「製作遊び」などを紹介しています。動画編集に苦労しながらも「子どもたちが興味を持って楽しめるよう、毎回工夫しています。家族みんなで楽しんでもらえたらうれしいです」と話す先生たち。家族で動画を見ながら、一緒に遊んで、楽しんでみませんか。

## 「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



子どもたちの成長を間近に感じられる  
素晴らしい仕事です

保育士というと女性の方に多いイメージですが、東海村では多くの男性保育士が働いています。私は小さい時から子どもが大好きで、中学生の頃は幼稚園に通う近所の子もたちと、鬼ごっこやかくれんぼをしてよく遊んでいました。子どもたちから「一緒に遊ぼう」と誘われて、日が暮れるまで遊んだ日々を、今でも覚えてます。あの頃の楽しい思い出がきっかけで保育士を目指し、いま男性保育士として働いています。

保育士になり、子どもたちと過ごす毎日は楽しく幸せです。子どもたちと一緒に遊ぶことで信頼関係を築いたり、楽しいことを一緒に見つけたら、毎日の生活の中で子どもたちの笑顔が見られて、幸せな気持ちになります。私は、子どもたちも保育者も幸せになれる保育士という仕事には、たくさん魅力があると思います。例えば、鉄棒や縄跳びができるようになったときやズボンで一人ではけるようになったときなど、できるまでの過程を見守り励まし、一つひとつの頑張りを感じることで、子どもたちは達成感を味わい、大きく成長します。また「走って転んで痛かった」「お箸がうまく持てなくて悔しかった」など、うれしいことだけでなく悲しいことや悔しいことも受け止めることで、転んでもすぐに立ち上がり次はできるようになったりします。子どもと保育士で思いを共有すれば、悲しいことは半分に、うれしいことは2倍になります。

子どもたちの気持ちを受け止め共有することで、成長を間近に感じられるだけでなく、保護者とともに子どもの成長を喜び合える。こんなにも、楽しみながら子どもたちの成長を身近で感じ、自分も成長させてくれる仕事は、ほかにはないと思います。これから保育士を目指す皆さんへ、ぜひ、子どもたちと楽しく過ごしながら、その成長を一緒に見届けてみませんか。

百塚保育所

岸貴裕 保育士